

# 日本版ヘルスケア ソーシャル・インパクト・ボンドの 基本的な考え方

経済産業省では、平成27年度にSIBに関する実証事業や検討会を実施し、日本におけるSIB導入の目的や意義、SIB導入に向けた具体的なプロセスや課題と対策、また、参考となる国内外での様々な取り組みを取りまとめたレポートを公開しています。

平成27年度健康寿命延伸産業創出推進事業（ヘルスケアビジネス創出支援等）

## 日本版ヘルスケアソーシャル・ インパクト・ボンドの基本的な考え方

著者： 慶應義塾大学 政策・メディア研究科 特任助教  
伊藤 健  
慶應SFC研究所 上席所員  
落合 千華  
ケイスリー株式会社 代表取締役  
幸地 正樹

### 目次

- 序論
- 本論
  - 1. 社会的課題解決のための施策としてのSIB
    - 1. 定義・目的
    - 2. SIB組成における関係者とその役割
    - 3. 背景・歴史
  - 2. 日本におけるSIBの位置付け
    - 1. 日本におけるSIBの定義・意義
    - 2. ヘルスケア領域におけるSIB組成の意義
    - 3. 地方自治体がSIBに取り組む意義
    - 4. 官民連携の一つの手法としてのSIB
    - 5. 日本におけるSIBへの資金提供者の可能性
  - 3. SIB組成プロセス
    - 1. 組成可能性調査工程
    - 2. 組成工程
  - 4. 特筆すべき課題と対策
    - 1. 組成プロセスから見る課題
  - 5. 参考事例
    - 1. ヘルスケア領域での海外事例
    - 2. SIB組成・導入に関連する国内先行事例
    - 3. その他成果報酬型モデル事例
- 結論

発行者：経済産業省 ページ数：75ページ

著者：慶應義塾大学政策・メディア研究科特任助教 伊藤健  
慶應SFC研究所上席所員 落合千華  
ケイスリー株式会社 代表取締役 幸地正樹

## ソーシャル・インパクト・ボンド（Social Impact Bond：SIB）とは

行政の成果連動型支払契約と民間資金の活用を組み合わせた官民連携手法の一つで、民間の資金やノウハウを活用して革新的な社会課題解決型の事業を実施し、行政はその事業成果（社会的コストの効率化部分）等を原資に成果報酬を支払います。2010年に英国で世界初のSIB案件が始まって以降、欧米を中心に10か国60件以上の導入が進んでおり、日本でも導入に向けた取り組みが始まっています。

### 入手方法



以下URLより無料でダウンロードできます。

[http://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/healthcare/chiiki/pdf/28fy\\_h-sib.pdf](http://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/chiiki/pdf/28fy_h-sib.pdf)